

父) フライングカラースの06 メス・栗毛 2006年4月13日生

全40口 ●1口60万円 (総額2,400万円)

生産 社台ファーム 繋養 社台ファーム

ネオユニヴァース
鹿 2000*サンデーサイレンス
Sunday Silence
青鹿 1986

Halo

Wishing Well

Hail to Reason

Cosmah

Understanding

Mountain Flower

*ポインテッドパス
Pointed Path
栗 1984

Kris

Silken Way

Sharpen Up

Doubly Sure

Shantung

Boulevard

フライングカラース
栗 1992*ジェイドロバリー
Jade Robbery
黒鹿 1987

Mr. Prospector

Number

Raise a Native

Gold Digger

Nijinsky

Special

オオミシャダイ
栗 1976

*リマンド

*フライングシャットル

Alcide

Admonish

Loom

Has a Heart(1)

ポイント

POINT

すでに2頭のオープン馬を輩出している母は、種牡馬の特徴をうまく産駒に伝える遺伝力に秀でています。その証拠に、本馬はスラッと長い脚、さらには流線型のゆったりとした背中のラインがひと際目立ち、父の面影と強く重なるものがあります。背が高いこともあり、大柄な馬体に重さはなく、ほどよい角度を持った肩の傾斜や可動域の大きな後肢は、レースでのダイナミックな走りを想像させます。筋肉の質感は父よりも厚めなもの、飛節の折れが深く、緩みのある歩様はサンデー系の特徴です。短めの距離でも十分に対応可能だと思われそうですが、やはり中距離の芝レースでこそ本馬の持ち味が生きるはず